

13. エンターテインメント分野 - - - 入場者管理

2005年

- 具体的なシステム概要
 - 電子タグや携帯電話を用いて、リアルとバーチャルの世界をつなげるシステム
 - 年間パスポートに電子タグを埋め込むことで、リアルテーマパーク内での行動履歴を蓄積し、Webサイトで自分の行動を再現する
 - タグを媒介にして、ゲームセンター/家庭用ゲーム機と携帯電話を連携させる
- 実現の効果
 - アトラクションの楽しみ方が拡大し、顧客ロイヤリティの向上が見込まれる。
- 技術開発課題
 - セキュリティ、プライバシー
- 取り組むべき課題
 - 低コスト化

利用イメージ

2010年

- 具体的なシステム概要
 - ものに付けられたタグを用いて、リアルとバーチャルの世界をつなげるシステム
 - プラモデルの個々のパーツに付された電子タグを使用し、PC上に3Dグラフィックで再現し、ネット上で対戦型アトラクションを実現する
- 実現の効果
 - アトラクションの楽しみ方が拡大し、顧客ロイヤリティの向上が見込まれる。
- 技術開発課題
 - 電子タグの貼付技術
- 取り組むべき課題
 - 低コスト化

利用イメージ

14. ロボット分野 - - - 犯罪監視

2005年

- 具体的なシステム概要
 - 建物の出入口や引出し等に電子タグを貼付、監視ロボットが想定外のタグの動きを自動検知し、検知情報や映像情報を自動通報するシステム
- 実現の効果
 - 空き巣、押込み等の犯罪抑止。
- 技術開発課題
 - 高度センシングシステム技術、トランスコーディング技術、高精度位置変動検知技術
- 取り組むべき課題
 - 犯罪者の侵入を検知するタグの埋込み、貼付方法の確立

利用イメージ

2010年

- 具体的なシステム概要
 - 監視ロボットが、犯罪者がもつ電子タグのついた物品を自動追跡し、犯人を確保することができるシステム
- 実現の効果
 - 空き巣、押込み等の犯人を確保することができる。
- 技術開発課題
 - 高度センシングシステム技術、超小型ワンチップコンピュータ技術、ユビキタスアドレス運用・管理システム技術、トランスコーディング技術、高精度位置変動検知技術
- 取り組むべき課題
 - タグの低コスト化、貴重品等の物品へのタグの埋め込み方法の確立

利用イメージ

15. 建設分野 - - - 資材管理

2005年

- 具体的なシステム概要
 - 全ての建設資材にタグを貼付し、発注から納入までの情報トレースを図るとともに、品質シート等のペーパーレス化を図る
 - 廃棄処分時にも有用
- 実現の効果
 - 資材搬入管理の高度化、事務手続きの簡素化
- 技術開発課題
 - 高耐久性技術
- 取り組むべき課題
 - 廃棄時にもタグを剥がさないことの担保

利用イメージ



建設用資材
鉄骨・鉄筋
支保工
型枠
足場
床板
配管
フェンス
コンクリート製品

2010年

- 具体的なシステム概要
 - シールドトンネル工事時等、全てのセグメントにタグを貼付し、セグメント搬入を全自動化
 - 完成時にはタグの位置を測定し、トンネル変位管理にも活用
- 実現の効果
 - 搬入順序の正確性向上、トンネル管理の高度化
- 技術開発課題
 - 高耐久性技術、高精度位置計測技術
- 取り組むべき課題
 - 導入コストの低廉化

利用イメージ



セグメント(タグ貼付)

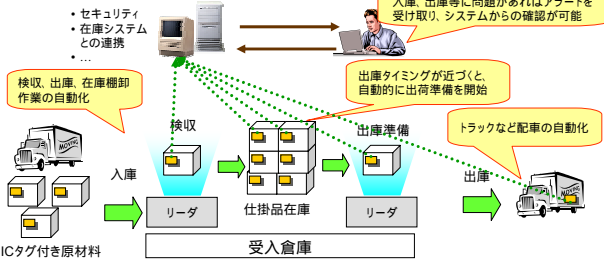
高精度位置情報
トンネル変位管理への活用

16. FA分野 - - - 生産活動支援

2005年

- 具体的なシステム概要
 - 原材料部品へタグを取り付けることにより、仕入れ・出荷業務、在庫管理を効率化する、生産付帯業務効率化システム
- 実現の効果
 - 仕入れの際の検品作業、レイアウト変更など生産活動以外の業務効率の向上
- 技術開発課題
 - 読取精度
- 取り組むべき課題
 - 低コスト化、上流・下流企業との連携(コスト負担含む。)

利用イメージ

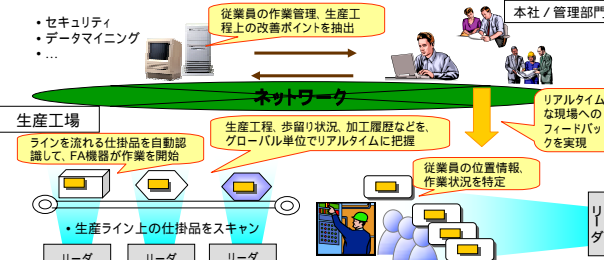


- セキュリティ、在庫システムとの連携
- 入庫、出庫等に問題があればアラートを受け取り、システムからの確認が可能
- 検取、出庫、在庫棚卸作業の自動化
- 出庫タイミングが近づくと、自動的に出荷準備を開始
- トラックなど配車の自動化
- ICタグ付き原材料
- 受入倉庫

2010年

- 具体的なシステム概要
 - 生産ラインの仕掛品にタグを付けることにより、生産工程、歩留り状況、加工履歴などをリアルタイムに管理するリアルタイム生産工程管理システム
 - 工場内従事者にタグを付けることにより、作業状況の管理、改善ポイントの抽出を可能にする
 - ラインを流れる様々な仕掛品の種類を自動認識し、FA機器が適切な作業を自動的に行う
- 実現の効果
 - 生産活動自体の効率化による、柔軟な生産体制構築
- 技術開発課題
 - 読取精度
- 取り組むべき課題
 - 低コスト化

利用イメージ



- セキュリティ、データマイニング
- 従業員の作業管理、生産工程上の改善ポイントを抽出
- 本社/管理部門
- リアルタイムな現場へのフィードバックを実現
- 生産工程、歩留り状況、加工履歴などを、グローバル単位でリアルタイムに把握
- 従業員的位置情報、作業状況を特定
- 生産ライン上の仕掛品をスキャン
- ラインを流れる仕掛品を自動認識して、FA機器が作業を開始
- リーダ